

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
現代社会	2 単位 法と現代	ビジネスと法Ⅱ	安藤 宏之	2 年次	秋

授業のキーワード	「民事責任と刑事責任」、「手形の振出・裏書・不渡」、「銀行取引」
授業の概要	裁判制度、手形・小切手の基礎知識、銀行取引概要、借入手続等を学ぶことで、ビジネス社会で役立つ法律知識を身につけることを目的とする。
期待される学習成果（目標）	1.ビジネス社会で発生する問題やトラブルの防止・解決に役立ちます。 2.手形や小切手、電子手形、銀行取引などについて理解が深まります。 3.各種資格試験で求められる法律知識が身に付き、資格取得に有益です。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	日常生活と法	紛争の解決、裁判のしくみ、裁判員制度、和解、ADR など	第 9 講	手形の偽造等	手形の偽造・変造、盗難・紛失、除権判決
第 2 講	法的責任	民事責任と刑事責任、犯罪と刑罰など	第 10 講	為替手形と小切手	為替手形とは、線引小切手、自己宛小切手
第 3 講	商法概説	ビジネスを規制する法律、商法とは、商人とは、商行為とは	第 11 講	銀行取引	住宅ローン、カードローン、金利、弁済方法（元利均等弁済など）
第 4 講	預金	預金の種類、預金業務の基礎知識	第 12 講	各種借入手続	手形借入・手形割引、証書借入、当座貸越など
第 5 講	当座預金	当座預金の意義、口座開設と終了（解約）	第 13 講	銀行取引約款	銀行取引約定書、期限の利益の喪失とは
第 6 講	手形・小切手の使われ方	手形・小切手の役割、経済的機能、電子手形とは	第 14 講	担保・保証等	抵当権、連帯保証人、不動産登記、法務局、公証人役場等
第 7 講	手形の振出・裏書	手形要件、手形の記載方法、裏書の意義と方法	第 15 講	全体のまとめ	本講の学習内容全体を復習します。
第 8 講	手形の不渡	手形交換、手形の満期と支払、手形の不渡	定期試験		問題文の正誤判定、適宜な語句の穴埋めなど、学んだ事項を確認します。
評価方法		期末試験 70%、授業貢献度 30%			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
小六法（有斐閣、三省堂等出版社は問いません）レジメ、資料を適宜提供します。			その都度紹介します。		